

NEWS

JAAF
HIROSHIMA

陸協ひろしまニュース
一般財団法人 広島陸上競技協会

第96号

R3.1.23発行



支えてくれた人たちに
恩返し。



走らせて
いただけることに感謝。

世羅高校2度目の男女V! 金字塔を打ち立てる!!

男子は全国最多10度目の優勝!
女子は5年ぶり2度目の逆転優勝!!

感動と喜び、希望と誇りを与えてくれた

広島・世羅

駅伝

世羅高校

Sera High School

男子			
区間	名前	区間記録	区間順位
1区(10km)	森下 翔太(2年)	29'18"	9
2区(3km)	吉本 真啓(3年)	8'09"	5
3区(8.1075km)	コスマス・ムワンギ(2年)	22'39"	1
4区(8.0875km)	新谷 紘ノ介(3年)	23'35"	13
5区(3km)	石堂 壮真(1年)	8'49"	5
6区(5km)	吉川 響(2年)	14'41"	6
7区(5km)	塩出 翔太(2年)	14'20"	3
計(42.195km)	2:01'31"		総合1位

女子			
区間	名前	区間記録	区間順位
1区(6km)	山際 夏芽(3年)	19'48"	4
2区(4.0975km)	加藤 小雪(3年)	13'19"	10
3区(3km)	細迫 由野(2年)	10'03"	12
4区(3km)	加藤 美咲(3年)	9'26"	5
5区(5km)	テレシア・ムツソーニ(3年)	14'37"	1
計(21.0975km)	1:07'13"		総合1位



緑と赤の「世羅カラー」が、師走の都大路を席卷した。2020年12月20日、京都市のたけびしスタジアム京都発着コースで47都道府県代表が競った全国高校駅伝。広島代表の世羅が5年ぶり2度目の男女同時優勝を果たし、「駅伝の世羅」の名を再び全国にとどろかせた。

午前の女子が、大会史に残る逆転劇で先陣を切った。決して前評判は高くなかったチームは「笑顔で終わる」を合言葉に結末。1区の3年山際夏芽主将が「勢いを付けたかった。仲間の笑顔を思い浮かべて頑張った」と4位で好発進。2区の



写真提供:中国新聞社

3年加藤小雪も入賞圏内を保つと、初出場となった3区の2年細迫由野、4区の3年加藤美咲も懸命の走りで順位をキープ。首位と42秒差で最終5区につないだことが、逆転劇への伏線となった。

ヒロインとなったのは3年テレシア・ムツソーニだ。最初の1kmを2分45秒のハイペースで入ると、「きつくなかったので、そのまま行った」と驚異的な追い上げでごほう抜きを開始。3.3km地点でトップを行く神村学園(鹿児島)のバイレ・シンシアをかわし、区間記録を27秒も塗り替える快走でフィニッシュした。最終区で42秒差を覆しての逆転優勝は、2015年に世羅の先輩である向井優香が記録した35秒差を抜き、大会史上最大の逆転劇となった。

1時間7分13秒で5年ぶり2度目の優勝。選手は合言葉通りの笑顔とうれし涙で、力走をたたえ合った。大会史上初の女性優勝監督となった中川久枝監督は「全員が120点の走りをしてくれた。地域、学校、OBの皆さん…。支えてくれた方々は数え切れない」と感謝の言葉を並べた。

その歓喜から約50分後。優勝候補の一角に名を連ねる男子の2年森下翔太が走りだした。直前に女子の快挙を知らされたが、「それでかんではいけないと、冷静にスタートできた」と安定したレース運びで9位発進。ライバル仙台育英(宮城)とは1秒差につけ、5年ぶりの頂点への土台をつくった。

2区の3年吉本真啓が5位に浮上。3区の2年コスマス・ムワンギが「最初から飛ばしていた。後半も粘れたの

が良かった」と区間初の快走を披露。仙台育英を1分19秒も引き離し、青写真通りに先頭に立った。

全国最多の10度目の優勝へ。だが道のりは平坦ではなかった。4区新谷紘ノ介主将が脇腹痛に見舞われ、苦しい走りとなった。それでも「とにかく1秒でも速くつなぐ」と懸命の走りを見せると、5区の1年石堂壮真も「先輩がつくってくれたリードを絶対を守る」と首位をキープ。6区の2年吉川響は「少し突っ込みすぎた」と言いながらも、31秒のリードを保って最終区にたすきを運んだ。

アンカーの2年塩出翔太は冷静だった。「後ろが詰めてくるのは分かっていた。でも自分も1年間、スパートを磨いてきた。たとえ並ばれても最後に振り切る自信があった」。冷静にピッチを刻み、競技場の第4コーナーで勝利を確信してガッツポーズ。13秒差で仙台育英をかわし、大会歴代2位となる2時間1分31秒の好タイムでフィニッシュ。節目の50回目の出場を10度目の優勝で飾り、就任1年目の新宅昭二監督は「やってくれると信じていた」と感無量の表情で選手をたたえた。



男子の第1回優勝からちょうど70年。長い歴史と伝統、そして地域の支えが男女の快挙を生み出した。今春には新型コロナウイルスの影響で選手寮が閉鎖され、選手はそれぞれの実家に散らばって練習。苦労を味わったことで、学校近くに山道コースがあり、強力なチームメイトが練習相手となる世羅の恵まれた環境を再認識。ケニア人留学生は住民有志の好意で宿泊や食事の面倒を見てもらった。「支えてくれた地域の人たちに恩返しがあった」。優勝のお立ち台で、ムツソーニは全員の思いを代弁した。

男子は5人が1、2年生で、2015年に先輩がつくった2時間1分18秒の大会記録更新を視野に入れる。女子も細迫らが経験者として残る。大会史上初の男女連覇へ。2021年の都大路を再び「世羅色」に染め上げるつもりだ。 text by K

練習難のコロナ禍、世羅が男女同時優勝!

男子第71回全国高校駅伝競走大会 / 女子第32回全国高校駅伝競走大会



日本中で新型コロナウイルス感染症が拡大していく中、高校生アスリートの夢の舞台であるインターハイの中止、国民体育大会も延期されたことにより、我々世羅高校陸上競技部にとっては、最大の目標である全国高校駅伝も開催されないのではないかと不安を抱えながら、トレーニングを積んできました。選手達のモチベーションを保ちつつ、パフォーマンスを向上させるにはどのような声掛けやトレーニングをしていけばいいのか、就任1年目のスタートから、思いもかけない出来事の連続で悩み続けました。しかし、岩本現ダイソー監督にアドバイスを頂きながら、大工谷前監督、中川女子監督、古原コーチ等スタッフ一丸となり、難局を乗り越えようとしていきました。休校になり帰省を余儀なくされた時やそれ以降も「とにかく12月20日を目標にしていこう」と具体的な期日を常に伝えつつ、校内の記録会や夏季合宿も最大の配慮のもと開催させていただきました。秋のシーズンでは、自己ベストを大幅に更新する選手が続出し、優勝候補に挙げられるほどのチームになりましたが、「タイムの自信」が「過信」にならないように、「速さより強さを」をスローガンに、どのようなレース展開やアクシデントに見舞われようとも、自分を見失うことなく、実力を発揮できるチーム作りを徹していきました。大会では、午前中の女子に引き続き、優勝のフィニッシュテープを切ることができ、日頃お世話になっている方々に少しでも恩返しできたのではないかと考えております。開催にご尽力してくださった全ての関係者の方々はもちろん、世羅町民はもとより、広島県民の皆様、広島陸上競技協会、高体連の皆様等の支えがあってこそであるものと心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

次回大会に向け、新チームがスタートしていますが、まだまだ未熟なチームではありますが、全国大会連覇という高い目標に向かって、スタッフ一丸となって、精進してまいります。今後ともご指導宜しくお願い致します

広島県立世羅高等学校陸上競技部 男子監督 新宅昭二

1区	森下 翔太 ●区間順位:9位(29'18") チームの目標だった、都大路優勝ができて本当に良かったです。	2年
2区	吉本 真啓 ●区間順位:5位(8'09") 個人では力不足だったが、優勝できてよかったです。応援ありがとうございました。	3年
3区	コスマス・ムワンギ ●区間順位:1位(22'39") 目標だった区間新記録を出せてうれしいです。来年また頑張ります。	2年 区間新
4区	新谷 紘ノ介 ●区間順位:13位(23'35") 個人としては力不足。チームとしては最高の結果だったと思います。	3年
5区	石堂 壮真 ●区間順位:5位(8'49") 全国優勝して、喜びと同時に悔しさも実感した。来年リベンジします。	1年
6区	吉川 響 ●区間順位:6位(14'41") 今回の優勝は応援してくださった方々全員のおかげだと思っています。	2年
7区	塩出 翔太 ●区間順位:3位(14'20") 襷を受け取ってから絶対優勝するんだと思いつきました。応援ありがとうございました。	2年



2020年12月20日、女子第31回全国高等学校駅伝競走大会において、5年ぶり2度目の優勝を果たすことができました。

今年度は、コロナ禍で思うように練習ができず、数々の大会も中止となり不安な状況が続きました。まさに「自分で考えて行動する」という前監督から言われ続けてきた言葉の意味が問われる期間でした。そのような中でも選手たちは「全国優勝」という明確な目標をもち、自分のできることは何かを考え行動し、3年生を中心にチームがまとまってきました。レースでは、「走りで私が引っ張る」と有言実行してきた1区キャプテンが区間4位と流れを作り、それに応えようと自分の役割を果たして繋いだ2区、3区、4区、そしていつも応援してくださっている方々に走り感謝の気持ちを伝えたいと誰よりも強い気持ちをもった5区留学生の力走が優勝に結び付いたと思っています。そして、選手たちが自らの力を発揮することができたのも前監督をはじめ、コーチ、トレーナー、OB、世羅高校の先生・生徒、世羅高校陸上部の関係者、そして、何よりどんな時も支え続けてくださっている世羅町の皆様方、応援してくださる全ての方々のご支えのおかげです。厚くお礼申し上げます。

また、このような厳しい状況の中で、大会の開催にご尽力くださった皆様方に深く感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

広島県立世羅高等学校陸上競技部 女子監督

中川久枝



1区	山際 夏芽 ●区間順位:4位(19'48") 3年間の集大成として、3年間で一番の走りができました。	3年
2区	加藤 小雪 ●区間順位:10位(13'19") 納得のいく走りができなかった。この悔しさを次の大会でいかせるようにがんばりたいと思います。	3年
3区	細迫 由野 ●区間順位:12位(10'03") 目標にしてきた都大路優勝を先輩方と叶えることができ嬉しかったです。	2年
4区	加藤 美咲 ●区間順位:5位(9'26") 高校生ラストの年に優勝し、楽しく走ることができてよかったです。	3年
5区	テレシア・ムツソーニ ●区間順位:1位(14'37") 最後なので、満足いく走りをしたかったです。支えてくれた人たちに恩返しをすることができました。	3年 区間新

一般財団法人広島陸上競技協会 受賞者名簿

公益財団法人 日本陸上競技連盟栄章

- 秩父宮章** **恵木 剋行**
(広島陸協参与)
- 高校優秀指導者章** **松谷 清志**
(広島皆実高等学校教諭)
- 中学優秀指導者章** **高地 浩司**
(神辺西中学校教諭)
- 高校優秀選手章** **上田 万葵**
(舟入高校→東京学芸大学)
- 中学優秀選手章** **山本 悠理**
(大和中学校→高梁日新高校)
- 安藤百福記念章** **金尾 誠可**
(うじな陸上クラブ)

一般財団法人 広島陸上競技協会

【功労者の部】

- 南場 智 (広島市)
- 山尾 利偉 (広島市)
- 流田 俊弘 (大竹市)
- 高三智王 (呉市)
- 新川富士子 (東広島市)
- 小道 廣海 (江田島市)
- 児玉 浩 (安芸高田市)
- 守谷 隆昭 (庄原市)
- 花田 弘 (尾道市)

【優秀選手賞】

《国内大会の部》

- 小林 青 (鹿屋体育大)
第89回日本学生陸上競技対校選手権大会(9月11日・新潟)
男子1500m 優勝 3分48秒23
- ムワンギ・レベッカジェリ (ドイツ)
第68回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会(9月20日・熊谷)
女子5000m 優勝 14分55秒32
- 迫田 力哉 (西条農業高)
2020全国高等学校リモト陸上競技選手権大会(10月24日・広島広域)
男子ハンマー投 優勝 64m33
- 村上 碧海 (西条農業高)

全国高等学校陸上競技大会2020(10月24日・広島広域)
女子やり投 優勝 54m43

- コスマス・ムワンギ (世羅高校)
男子第71回全国高等学校駅伝競走大会(12月20日・京都)
第3区 区間賞 22分39秒 **区間新**
- テレシア・ムツソーニ (世羅高校)
女子第32回全国高等学校駅伝競走大会(12月20日・京都)
第5区 区間賞 14分37秒 **区間新**

【新記録賞】

《広島県記録》

- ムワンギ・レベッカジェリ (ドイツ)
女子5000m 14分55秒32 **国際県新**
第68回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会(9月20日・熊谷)

《広島県高校記録》

- 中野 翔太 (世羅高校)
男子1000m 28分58秒80
第4回中央大学記録会(3月8日・中央大学)
- 迫田 力哉 (西条農業高校)
男子ハンマー投 65m39
第59回広島県高等学校新人陸上競技大会(9月19日・東広島)
- 山本 萌末 (高陽東高校)
女子三段跳 12m15
第4回広島県高校生記録会(11月3日・東広島)

- 村上 碧海 (西条農業高校)
女子やり投 54m72
第4回広島県高校生記録会(11月3日・東広島)

《広島県小学生記録》

- 石川 蒼大 (東広島TFC)
男子80mH(0.700m) 11秒65
広島県小学生陸上競技交流大会(9月21日・広島)
- 石川 蒼大 (東広島TFC)
男子80mH(0.600m) 11秒46
第45回広島県民体育大会(10月4日・上野総合)
- 石川 蒼大 (東広島TFC)
男子コンバインドA 2627点
広島県小学生陸上競技交流大会(9月21日・広島)
- 三好 美羽 (竹尋アスリート)
5年女子100m 13秒32
第2回広島市記録会(11月7日・広島広域)

- 山廣 詩羽 (CHASKI)
5年女子100m 13秒53
2020広島県小学生四種競技会(10月11日・広島)
- 岡藤 美空 (石内南SKRC)
女子800m 2分25秒76
第32回広島県小学生総合体育大会(11月1日・東広島)
- 山根 ず穂 (府中空城ジュニア)
女子ジャベリックボール投 47m46
2020広島県小学生四種競技大会(10月11日・広島)
- 青井 莉子 / 佐々木 遥菜 / 金内 惺海 / 古川 弘貴 (広島JrOC)
混合4×100mR 53秒15
広島県小学生陸上競技交流大会(9月21日・広島)

【優秀団体賞】

- 世羅高校男子チーム
森下 翔太 吉本 真啓
コスマス・ムワンギ 新谷 紘ノ介
石堂 壮真 吉川 響
塩出 翔太 福田 翔
花岡 慶次 村上 響
男子第71回全国高等学校駅伝競走大会(12月20日・京都)
優勝 2時間01分31秒
- 世羅高校女子チーム
山際 夏芽 加藤 小雪
細迫 由野 加藤 美咲
テレシア・ムツソーニ 永地由香里
田垣内 葵 大森 美翔
女子第32回全国高等学校駅伝競走大会(12月20日・京都)
優勝 1時間07分13秒

【特別表彰】

- 新宅 昭二 (世羅高校)
優勝チーム監督
男子第71回全国高等学校駅伝競走大会(12月20日・京都)
- 中川 久枝 (世羅高校)
優勝チーム監督
女子第32回全国高等学校駅伝競走大会(12月20日・京都)

広島の陸女たちが、全国制覇!! 全国高校駅伝女子で初の女性優勝監督に!!

企画広報委員長 藤原 文代

2016年に世羅高校へ赴任し、岩本監督の後任として引き継ぎ2年目。全国高校駅伝女子で初の女性優勝監督となった中川久枝先生(世羅高校教諭)。広島皆実高校出身、短距離が専門。県東部を中心に陸上競技部の顧問として指導に携わってきた。「私には力はない。岩本前監督やコーチ陣OBの皆さんを始め、お世話になった方々はかぞえきれない。」とこの度の優勝を振り返った。「優勝したいという思いは、もっていた。でも、注目をされていなかったの、必要以上のプレッシャーを感じずに済み、普段通りやろうと声を掛けた」と。選手の気持ちにいち早く気付き支える姿は、選手たちから「母のような存在」と言われている。今回、選手の緊張をほぐすために、「(優勝後に贈られる)ケーキを食べよう」と言った。実際は、このケーキ以外のお祝いケーキも届き、大喜び。選手たちは、監督の言葉通りのケーキを満面の笑みで頬張った。「選手一人一人が、120点の走りをしてくれた。感動した。」と選手を讃えた。選手の心に寄り添いながらコロナ禍を過ごしたことで、大会開催への感謝、地域への感謝の思いが一段と強くなった。「皆様に心から感謝を申し上げたい」と優しいまなざしで繰り返し話された。

このコロナ禍、私たちに「感動と喜び、希望と誇り」を与えてくださった世羅高校陸上競技部の皆さんに感謝を申し上げるとともに、今後の益々のご活躍を祈念している。



走ることが好き、歩くことが好き、
走る人を応援することが好き、
ワクワクするその気持ち
そう! あなたも陸女!! RIKU★JO



青少年の夢を応援します!

(順不同)

青少年健全育成 協力企業

- 中国電力株式会社
- 朝日医療専門学校広島校
- 株式会社大創産業

- 株式会社ツルハグループ
ドラッグ&ファーマシー西日本
- 広島駅弁当株式会社
- 広島管公学生服株式会社
- 株式会社中電工
- 有限会社道後山高原サービス

- アシックスジャパン株式会社
- 大家製菓株式会社広島支店
- 株式会社合人社グループ
- 株式会社広島銀行
- JR西日本プロパティーズ株式会社
広島ダイヤモンドホテル

- 広島電鉄株式会社
- 株式会社もみじ銀行
- 株式会社ウイズアート
- 株式会社体育社
- 株式会社ニシスポーツ
- 株式会社BTM

- 広島ガス株式会社
- 広島経済大学
- 広島化学学園
- 特別協力企業
- ミズノ株式会社
- 株式会社キリンビバックス